

行事予定

- 一月 七日(木) 大般若会
- 一月 十八日(月) 初釜
- 一月 二十三日(土) ダンマトーク 玄侑宗久師
- 二月 八日(月) 開山忌
- 二月 十五日(月)～十八日(木) 西国三十三観音巡礼
- 三月 四日(金) 東京教区詠道部発展拡充大会
- 三月 七日(月)～十一日(金) 出雲三十三観音巡礼
- 三月 二十日(日) 春季彼岸会
- 四月初旬 龍雲寺桜ライトアップ (予定)
- 四月 十一日(月)～十四日(木) 第九次四国巡拝
- 四月 二十三日(土) ダンマトーク 佐々木閑先生
- 五月 九日(月) 花園会女性部大会
- 六月中旬 第一三七回 三峯榛名講
- 六月 十八日(土) ダンマトーク
- 七月 十三日(水)～十五日(金) 棚経
- 七月 十七日(日) 孟蘭盆施餓鬼会
- 七月 二十九日(金)～三十一日(日) 盆踊り大会 (予定)
- 八月 十五日(月)～十七日(水) 第十一回妙心寺と五山送り火
- 九月 二十二日(木) 秋季彼岸会



大般若会とは？

唐の玄奘三蔵法師がインドから持ちかえり四カ年を費やして翻訳された最大の教典「大般若波羅蜜多經」六百巻を転読、祈禱する法要です。

仏前には、悪心を取り除く働きのあるといわれる「十六善神」の尊像を掛け人間としての真の幸福と世界平和を祈願する法要で、中国では長い歴史の中で鎮護国家と除災招福を願う重要な祈禱会とされてきました。

日本では文武天皇の大宝三年(七〇三)に行われた記録が「続日本紀」にあります。新しい年を迎えて今年一年の息災を祈ろうではありませんか。

編集後記

師走の慌ただしい中、皆様いかがお過ごしですか？11月末に次男で住職の晋輔が由佳さんと龍雲寺のご本尊様の前で結婚式を挙げました。どんなお嫁さんを見つけて来たか楽しみでしたが娘達も、お兄ちゃん達は家に合ったお嫁さんを連れて来たと言っているので、貴女達も見習って良い方を見つけてね！と。由佳さんは、とても感じの良い娘さんで8月の五山の送り火、御詠歌の札観大会にも同行して手伝って火、御詠歌の札観寺の娘さんではないので覚える事が沢山あり大変だと思います。由佳さんなら大丈夫だと思えます。皆様にも長い目で温かく見守って頂けたら嬉しいです。由佳さんは若奥さん、私は今まで通り奥さんでお願いしますが、方丈さんは手が痛いそうなので、缶ビールを開けるのが難しいそうです。四国巡拝や西国観音巡礼の難所は全て踏破しました。ただ今通院中です。○応接間の窓側には皆様からお頂いた花々が沢山咲いています。まるでお花屋さんみたいですよ。大切にしています。○第9次四国巡拝は今回で満願に第10次までやれたらと思います。四国は航空機を利用しては、西国や出雲の巡礼は、龍雲寺からバスで。高速道路が増え楽に行かれます。80歳以上の方々のお1人参加も1人居屋、2人居屋等ご希望です。お元気なうちに一緒にしましょう！是非ご参加下さい。詳細は、何時でもお申し込みください。○ノノベル賞受賞された大村智先生のお餅つき大会、芸術館には、私の絵が2枚あります。○愛犬ハクちゃんも亡くなりました。可愛い犬で皆がシヨックでした。○子ども会のお餅つき大会、大掃除、お供えのお餅つき、除夜の鐘とお正月飾りや生け花等をしていけると、あつという間にお正月です。皆様お身体を大切に。良いお年をお迎え下さい。要子

臨濟宗妙心寺派

龍雲寺 花園会報

二〇一六年 正月号

監修／細川 晋輔 編集／細川 要子

〒一五四一〇〇三
東京都世田谷区野沢三三三八一

TEL〇三三三四二一〇二三八
FAX〇三三三四一八一八九六三

野沢龍雲寺 検索

ご挨拶

閑栖住職 細川 景一

皆様方には平成二十八年の新年を恙無くお迎えの事と存じます。中には不幸等悲しい思いをされている方もあると思います。一日も早く元気に元の生活に戻られる事を祈って居ります。国学者頼山陽は新年になると必ず「春秋」の「春王正月の章」を読んだと言われています。

東窓几を払って初日を迎う。読み起こす、春王正月の章。新年の朝きれいに整頓された机に向かって、心静かに古人の箴言を読むのも清々しいものです。

一年の計は穀を種ゆるにあり。十年の計は樹を種ゆるにあり。百年の計は徳を種ゆるにあり。人の最も種ゆべきものは徳なり。米や野菜の食物は一年単位で計画出来ます。松や杉、桧などの樹木は十年単位で計画しなければなりません。人間を造る為には長い百年もの計画が必要です。

平成二十八年の新年に当たって百年の大計を以て徳を種ゆる生活を始めたものです。徳を種ゆる生活とは、善行とか正義といった倫理的な意味だけではなく、自分の一生をそれに尽くしても、悔いの残らないよう生きて行く事ではないでしょうか。毎日、私達は好むと好まざるにかかわらず雑踏、塵埃の中で生きています。

時には静かに坐って、自分というものを振り返って見るのも必要です。人生の一旦停止です。世界は広しと雖も自分は只一人です。私達の人生はやり直しのきかない只一度の人生です。自分という人間のかけがいのなさがひしひしと感ぜられます。たった一人しかない自分。

たった一度しかない
一生を
ほんとうにいかせなかつたら
人間に生まれてきた
甲斐がないじゃないか

(山本有三)

清々しい新年に当たって、百年の計は徳を種ゆるにあり、人生の目的をもう一度、じっくり考えて見るのも必要ではないでしょうか。

大般若会

平成二十八年一月七日(木) 於・龍雲寺本堂
午前十一時 御詠歌奉詠
午後十一時三十分 法話
正午 法要 後昼食会

※お申し込み不要、会費は一族二千元 今年も別便のご案内は出しません。皆さんお誘いの上一人でも多くご参加下さい。

平成二十八年の新年を迎えました。皆様方におかれましては、それぞれの思いで新年を迎えられたことと存じます。

皆様にご報告がございます。私、昨年十一月二十八日に結婚致しました。妻は由佳と申しまして、栃木県の真岡市出身です。龍雲寺の本堂で、ご本尊様ご照覧のもと、両家のご先祖様の前で、大本山妙心寺の聖澤院の老大師に戒師をお務め頂き、仏前結婚式を挙行させて頂きました。これからは、二人で力をあわせて、両親にも色々教えて頂きながら、より一層龍雲寺の護持運営に精進してまいり所存です。まだまだ若輩でございますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。

昨年からお寺で安岡定子先生を講師に「てらこやこども論語塾」をはじめました。豊に正座して、お子さんと一緒に背筋を伸ばして論語の素読をする。回を重ねることに、お子さんたちの元気な声や、その成長ぶりに驚かされます。

さて、中国の孔子先生の「論語」には、次の様な句があります。「過ちて改めざる、是れを過ちと謂う」人間として生きていく上で、いろんな意味で「過ち」は避けて通れません。どんな人になっても間違いもありますし、失敗もあります。何といたっても聖人と言われる、お釈迦様や孔子先生ですらそうなのですから。しかし、孔子先生はこの言葉で、「過ち」をしつかり認め、反省し、改めることで、それは「過ち」ではなくなるといふのです。

一説では正月の正は、「修正」の「正」の字よりきているとか。私はこの考え方が大好きで、正月が来る度に思い出します。一年の初めの日を迎えるにあたって、去年の自分自身を省みる。そして、もしその道から外れてしまっていたなら、しつかりと修正して元に戻す。この正月というものは、ぜひそんな機会にしたいものです。私自身、龍雲寺の住職を拝命して三回目、結婚して初めての新年を迎えるにあたり、平成二十八年が檀信徒の皆様にとって幸せな一年と成りますことを、心より祈念致しましてご挨拶とさせていただきます。

◆お寺より御礼

浜ばっぱの雑巾ご協力有難うございました。今回で打ち切りに。

◆「みんなちがって、みんないい。」

金子みすゞ朗読会 於・龍雲寺本堂

私と小鳥と鈴と

わたしが両手をひろげても、お空はちっともとべないが、とべる小鳥はわたしのよう、地面（じべた）をはやくは走れない。

わたしがからだをゆすつても、きれいな音はでないけど、あの鳴るすずはわたしのよう、たくさんのうたは知らないよ。

すずと、小鳥と、それからわたし、みんなちがって、みんないい。

平成二十八年の三月十三日（日）の午後三時より、詩人・金子みすゞの朗読会を行います。三月は東日本大震災より五年を迎え、また金子みすゞのご命日の月にあたります。

その言葉からあふれ出すメッセージを、長い間金子みすゞの詩に関わってこられた、元NHKエグゼクティブアナウンサー・村上信夫さんに朗読して頂きます。

詳しくは追ってお知らせ致します。お問い合わせはお寺まで。

募集

詳しくは龍雲寺まで
お早めにお申し込み下さい。

◆無相教会花園流御詠歌会員募集

一月二十五日（木）・二月二十三日（火）
三月二十五日（金）
毎週木曜日二回自主練習

男性・女性どちらでも可

会費は無料、お弁当代六百円のみ。貸出用の御詠歌のお道具有り、見学自由、全員イス席で講習を受けます。自主練習（不定期）。男性もどうぞ。

◆早朝洗心坐禅会（申込不要）

毎週日曜日 朝六時半～八時半（六時開門）
会費 無料

坐禅用のイスもご用意しています。
※初参加の方は六時四十分より説明があります。

◆字経会（申込不要）

毎月第二土曜日 一時～四時
（但し、七月、八月はお休み）

納経料は 一卷五〇〇円（龍雲寺に納経）
来られない方は、お写経をお渡しいたしますのでご自宅でゆっくりお写経をどうぞ。
イス席もご用意しています。

◆龍雲寺厚木墓地のご案内

開修寺墓苑内に龍雲寺檀徒用の墓地を造成しました。龍雲寺檀徒としてお付き合いをさせて頂きます。

A（一五〇×一五〇）永代使用料一二五万円
B（一五〇×一四〇）永代使用料一一四万円
A Bとも納骨棺、塔婆立、拜石等の外柵工事費を含みます。

◆納骨堂（お遺骨一時預り 無料・期間五年）

墓地をお持ちでない方や転勤の多い方、将来落ち着き先がわからない方たちが、ご不幸があつて慌てて墓地を買われないように、落ち着いて考える時間を持つて下さるようという考えで十数年前に納骨堂を本堂の裏側に建てました。いつもお参りの方がいらしています。

◆龍雲寺てらこや子ども論語塾

全国各地で定例講座をされている安岡定子先生をお招きしての論語の素読教室です。終わってからの遊びの時間も大好評です。

【日時】一月十七日（日）・二月二十一日（日）

午後二時半から

【参加費】大人千円、子ども五百円

（家庭料金千円）

申し込み、お問い合わせはお寺まで

◆龍雲寺ダレマトーク（法話会）

午後二時半から四時半まで（開場 午後二時）

【場所】龍雲寺本堂

【参加費】無料

※要予約（東京禅センター）

申込みは、お名前・お電話番号・人数を明記の上、東京禅センターまでFAXでいただけると助かります。

★東京禅センター TEL〇三（五七七九三三〇〇）
FAX〇三（五七七九三三〇一）

◆巡拝・巡礼のお誘い

二月 十五日（月）～十八（木） 第四次西国三十三観音巡礼 二回目
三月 七日（月）～十日（木） 第一回出雲三十三観音巡礼 一番より
四月 十一日（月）～十四日（木） 第九次四国八十八ヶ所巡拝満願の旅
八月 十五日（月）～十七日（水） 第十一回妙心寺と五山送り火

○他にも龍雲寺では開基の会・茶道部・法声会（長唄・三味線）・獅子舞・子ども会・かつばれ・ヨーガ等があります。

